

展をいたしましたことを思ふにつけても、兩理事の御逝去を哀悼痛惜すること切に、心底其の御盡力を感謝してをる次第であります。

二 藤崎の親類として見たる

故人と史學者白鳥博士

衆議院副議長
早稻田大學教授

内ヶ崎 作三郎

本日は本會の創立者の一人であつた故藤崎三郎助氏の思出の催をお開き下さいまして私もその親類の一人としての席にお招きを受けましたことを厚く御禮申上げます。

故人が亡くなられました十七年になりますが命日の六月十六日には時局柄ささやかな法要を行いました。然るに三十年前の御縁によりまして今日のように其追憶の爲め學術的な御講演を催し下され誠に感謝に堪へません。

唯今會長林伯爵からお話があつた様に故人も地下で本會がこの様に發展せられたことを満足致してをり又感謝し

てをることと思ひます。

白鳥博士は文部省の會に於ても又前から御交際願つてをり、先生の學問には常に敬服してをりました。

私は政治家でありまして、二十年その生活を送つて参りましたが私の本當の専門は歴史であり歴史に一番興味をもつたものであります。爰に白鳥博士の學恩も思ひ浮べるのであります。

私は常々思ふのですが今後は東洋を中心とした立派な世界歴史の本を作つて欲しい。かう思ふのであります。

細い部分も十分知つてをつて尙要綱のみを述べてある、大綱を握つてゐるといふ本が最も理想的でありますが困難なことであります。

この點に就いて白鳥先生を深く敬服致してをりました。東洋史を西洋史と峻別しては實際歴史は分らないのであります。

今後の歴史研究者の注意を要することぢやないかと思ひます。

例へば支那の絹が歐洲まで入つて相當な財力が西の方から入つて唐代の文化の成立を早くしたのではないかと考へてをるのであります。

そこで東西文化の兩方が大切でありその部分々々を關係づけて考へて見たいと思ひます。

大東亞戰爭勃發以來急激に南方方面に目を向ける様になりました。ここに北米、カナダ、マレー、南米、アフリカ、ロシアのシベリヤ開發などの一通りを調査しその植民地の行政のとり來つた道を比較研究して悪い所は悪い、良い所は良いとするのが學者の任務ではないかと思ひます。

マレー、ビルマ、ボルネオ等に就いて實際調査を始めた夜も寝ないで勉強しなければならぬと思ひますが、それ等を凡て一つに壓縮してその精髓丈鍾めて一卷とした要領の好い世界史が欲しいと思ひます。

此點で白鳥博士の如き史學の大家に期待してをつたものが多いのであります。而も博士の逝去に遇ひ哀悼に堪へません。終りに再び故藤崎理事の親類として今日の追憶講演御開催の御厚情を感謝し厚く御禮を申し上げます。

三 藤崎白鳥二理事の

人格を仰ぐ

本會理事兼研究所長
文學博士

加藤 玄 智

唯今林會長からも追憶談がありました、この機會を利用して私からも白鳥藤崎兩氏の本會に對する御功績の一端を申し上げて兩氏を御追憶致したいと思ひます。

藤崎理事が亡くなられてから今日聽て十七年になります、この會の地方講演會が故藤崎理事の郷里仙臺でありまして、林會長・白鳥博士も御列席で非常に大規模な講演會が仙臺で開かれました。是れ偏に兩理事の御盡力による所多かつたのであります。

白鳥博士が學會に貢獻する所大であつたことは今更申上げるまでもないことと思ひますが、博士の薨去を哀んで、私は

かきのことすふみこそ君の命なれ

萬代までも御名はくちせじ